

令和4年7月22日

新型コロナウイルスに係る武田/モデルナ社ワクチンの廃棄について

新型コロナウイルスワクチンについて、羽曳野市立保健センターにて冷凍保管をしていた「武田/モデルナ社ワクチン」が、適正な温度で保管されていなかったことが判明し、廃棄することになりましたので報告をいたします。

判明日時	令和4年7月22日（金） 午前9時30分頃
発生場所	羽曳野市立保健センター内
発生状況	<p>令和4年7月22日（金）午前9時30分頃に、羽曳野市立保健センター内のモデルナ専用冷凍庫内温度の定期点検のため職員が確認したところ、冷凍庫の外部モニターは適正な温度を表示していましたが、庫内に霜がおりているなどの異変に気付きました。</p> <p>冷凍庫内には401バイアル（6,015回分）のワクチンを保管しているため、庫内温度を計測している機器で温度記録の確認をしたところ、適正な温度で維持がされていないことが判明したため、ワクチンの安全性を考慮し使用せずに廃棄を行いました。</p> <p>なお、庫内の設定以外の温度となった場合は、アラームが鳴ることになっていますが作動した形跡はありませんでした。</p> <p>何らかの不具合により温度が上昇したと考えられますので、今後調査をして参ります。</p>
再発防止策	原因を究明し、適切なワクチン管理に努めます。
問合せ	新型コロナウイルス対策室